

2021年1月号

# 求める会ニュー入 No. 982

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL&FAX: 078-822-0810 第2FAX: 078-842-2430

■URL: <http://www.motomerukai.com>

■Email: [info.motomerukai@gmail.com](mailto:info.motomerukai@gmail.com)

## 明けましておめでとうございます。



昨年中国で始まった新型コロナウイルスの感染拡大が、あっという間に世界中に広がり、日本も今もって終息の気配がありません。年末年始は全国で行動の自粛が求められました。

皆様にはどのようなお正月を迎えられましたでしょうか。

一日も早く感染が終息し、通常の生活が戻ってくることを心から望んでいます。

さて、46年の歴史を持つ「求める会」も、残念ですが会を閉じる時期が近づいてきました。食品公害の学習会から、たまごの共同購入が始まり、神戸学生青年センターの主催する「食料環境セミナー」（現在名）で保田先生や多くの先生方から「食」＝「命」について多くのことを勉強させていただき、有機農業の大切さを学び、生産者との提携を実践してきました。今でこそ「サステナビリティ」という言葉で若い人にも持続可能な社会を目指そうと言われるようになりましたが、私たちは何十年も前から有機農業を通じて持続可能な社会を目指してきたと自負しています。

会員の皆様は、野菜に始まり、米、卵、調味料など「食」にこだわりを持って生活しておられるので、今まで共同購入していた物品が手に入らなくなることを心配していらっしゃるのではないのでしょうか。それは私たちだけではなく、生産者の方がたも同じ思いだと思います。

そこで、生産者の方がたを訪問し、今までどおり購入することができるのか、どのような購入方法があるのかなど、いろいろ話し合ってきました。ほとんどの生産者の方からは、個別に注文を取って配送できると言ってくれ、安心してはいたのですが、私たちの各生産者への振り込みが煩雑になり、注文が減っていくのではないかと心配が出てきました。

そこに、「あしの会」との話し合いの中で、求める会が終了した後も引き続き今までどおり物品を購入し、支払いに関してもまとめてできるような提案を頂きました。そこで、「あしの会」に私たちと生産者の間に入っていただき、お手伝いしていただく話し合いを進めることになりました。「あしの会」は求める会が配送費でひっ迫したときに、同じ思いをもって活動をしておられるということで配送をお願いし、とても丁寧な配送をしていただいています。

まだまだ具体的なことは決まっていますが、なるべく早く目途が立つようにしていきたいと思っています。決まり次第、会員の皆様にはお知らせしていきます。

求める会が終わると思うと寂しいですが、最後までしっかりと活動を続けていけますよう、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(副代表 岩本 美樹子)

12月全体会報告  
12月16日(水) 10:00~12:30

### 【検討事項】

#### 1、会のこれからについて

○あしの会との話し合い:12月24日(火)  
15:00~

・求める会で扱っている物をあしの会で扱ってもらえるかについて→あしの会では発注と配送の期間が短いのと品目によっては重複しているものもある。これらについては生産者と話し合うことが必要であり、豚、牛肉に関しては年明けから取り組む予定。野菜については一色さんと橋本さんの考えが違うので再度検討したい。(一色さんは個配、橋本さんは提携を基としたコンテナ希望)

・あしの会の配送料  
注文が月15000円あれば無料、協力料扱いは1回220円になる。

・今後の見通しがつくのはいつか?

来年の8月には決めたい。

・あしの会にない物はどうすればいいのか。  
生産者と話し合う必要があるが、生産者が責任をもって配送するなら生産者に一任になる。

・センター移転(3月)に伴い体力的にも退会する会員が出そうだが、品物入手が可能ならばその方法を早く知らせたい。

1月~3月に理念を伝えて生産者の意向を聞き、まとまったところで求める会ニュースに載せて知らせる。ニュース紙の色を変えて別刷りにして知らせる方法もある。

10年先の事を生産者、消費者ともに考えることが大切で共に考えたい。

#### 2「ゆうきすと」の編集についての報告

・70ページ予定(40万~50万円) 求める会の運動が若い世代に関心を持たれているようで嬉しい。各グループに要領を知らせ、個人の意見も聞きたい。

### 【報告事項】

#### ① 活動部各担当

##### \*野菜

・畑の様子

これまでの暖かい気候で野菜も大きく成長

し、現在出荷の野菜が続いて出荷されます。大根の苦情がありましたが、早くに種まきした分かと考えられる(一色さん)。

年末最終配送:12月25日(金)

年始配送:1月5日(火)

##### \*卵

兵庫県下で鳥インフルエンザが発生したことを受けて、和田山家畜保健衛生所から情報を得たり、鶏舎に石灰をまいて消毒しています(橋本さん)。

##### \*果物

・温州みかんの配送中。5回目にサービスで柚子を入れる。

・りんご:今年は暖かかったので成りが遅く、出荷が遅れています。10回目の配送が終わったら進物用になります。

##### \*会員担当

・「おいしいね!」が育てる元気シリーズ V”の味噌づくり

2月16日(火) 10:00~ 8名参加  
今回は味噌を仕込んで持って帰ってもらう。前回の味噌づくりに参加した方が1人新会員になった。

##### \*事業部担当

全体会後の即売:渡邊水産の干物、宮島食品の豆腐類、藤本水産の煮干し、ちりめん、マルハ園芸のレンコン、中本さんの生シイタケ、いつもの調味料、海藻類、石鱈類。

##### \*広報・庶務

求める会ニュース1月新年号印刷 12/23

##### \*渉外担当

・ビレッジライフ懇話会

12月19日(土) 15:00~17:00

「有機農業を考える」松岡圭吾と仲間たち  
(神戸市在住) 農業会館 500円

#### ② 実務部から

みかん、りんごの配送に伴い、引き落とし額が多いので残高を確認してください。

○その他

事務所整理をしています。「ゆうきすと」「求める会合本」が残っていますのでご自由にお持ち帰りください。

○お知らせ

求める会が主催するもの

1月20日(水) 全体会開催予定

<会の今後についてのお知らせ>



## あしの会との話し合い②

11月24日（15時から約1時間半）、あしの会代表の奥谷さんと求める会の会員8人と話し合いました（西宮北口3分・プレラ会議室）。

前回（9/29）の話し合いの時に「求める会の物品の購入方法をできるだけ変えない形であしの会が引き受けてもいい」との提案があり、その方向で10月と11月の全体会で話し合い、そこで出た質問や意見をこの日に持って行きました。内容は以下のとおりです。

Q：あしの会では個人・グループどちらでも月15,000円以上の購入品があれば、配送費は無料であるが、その中に野菜代も入るか？

また、15,000円未満の時の配送費は？

A：15,000円の中に野菜代も入る。15,000円未満の時は、一回220円×月〇回の金額を、「配送協力金」としていただいている。

Q：グループがバラけるとときには個配をお願いできるか？

A：対応はできる。ただしすべてのグループが個配になると配送が大変になるので相談させていただきたい。基本あしの会もグループ配送です。

Q：求める会では野菜・りんご・みかん・肉類など一回ごとの注文ではなく登録注文制にしている。あしの会でもその方が楽ではないかと思うが。

A：可能であるので、考えてみたい。

Q：生産者への支払いはどのようにしておられるのか？

A：末日まで翌25日払い。振込料は、月30,000円以上の時は生産者持ち、それ未満はあしの会が持っている（少額の中から引くのは気の毒なので）。

Q：配送ができないところに、宅配便で送ってもらうことはできるか？

A：宅配便はやっている。ただ、宅配の配送費が要ります。

Q：求める会への不安はなにかありますか？

A：一色さんが個別配送される予定であることが残念です。何かバックアップさせていただくことがあれば考えて、一緒にやりたいと思っている。

今回は、このような話し合いでした。その他牛乳、豚・牛肉、果物、調味料など、生産者と相談しながら、更に具体的に詰めていくこととなります。

今後あしの会をとおして購入できれば、注文・支払いは今までとあまり変わらないですし、求める会の扱い品と同じものもあります。ほかの扱っておられるものも吟味されたもので安心です。また、「農村と都会をつなげたい」という奥谷さんの思いも、私達に近いものです。求める会はその思いも応援したいと思っています。できるだけ多くの方々がご協力くださることをお願いしたいと思います。

ご質問、ご意見があれば事務所までお寄せください。

## 1月のカレンダー

1月13日（水）部会  
1月20日（水）全体会  
1月20日（水）共同購入申込締切日  
自動引き落とし日  
1月27日（水）食料環境セミナー



## 1月全体会議題

- 会のこれからの進め方について
- 「ゆうきすと」最終号の編集について

## 各グループへお願い

機関誌「ゆうきすと」最終号に全グループの紹介を載せたいと思っています。この求める会ニュースと一緒に、作成していただく要領を同封していますので、ご覧いただき、期日までに事務所までご返送くださいますようお願いいたします。  
「ゆうきすと」編集委員会

## 食料環境セミナー

1月27日（水）10:30~12:00  
「韓国の学校給食と有機農業—『ソウル市親環境無償給食成果白書』を読む」  
むくげの会 会員 近藤 富男さん  
会場：神戸学生青年センターホール  
参加費：600円  
主催：（公財）神戸学生青年センター  
託児（無料）は前々日までに予約を。

## 第36回地域農政フォーラム報告

11月20日（金）、神戸市教育会館404号室にて。主催はNPO法人兵庫農漁村社会研究所（理事長は保田茂先生）。求める会より飛田、茂松、西尾が参加しました。

今回の基調テーマ「県下で活躍する新規就農者の理想と現実」について、以下のような3つの報告がなされました。

### ◆報告①「就農のリアルとこれから」横山湧亮氏（ふえのみち農園、丹波市在住）

自然の魅力に惹かれ7年前丹波市へ、6年前笛路村へ、惚れ込んだ景色を維持するため農業を志す。農業大学で1年研修後就農5年目。農業とは、土地を守り自然を守る仕事であると実感した。クラウドファンディング方式で資金集め、年会費1万円で年4回野菜を発送している。土地・機械は地域の方に貸してもらうことに。様々な栽培方法を実践、技術書を読んだり、農家を積極的に視察したりして技術を学び、名刺を配るつもりでマルシェに参加、飲食店との取引につながった。最終的に地域住民で土地を管理し、経済も回していけるモデルの構築を目指す。

### ◆報告②「新規就農者になって」徳毛（とくも）小春氏（こはるファーム、三田市在住）

2020年8月1日新規就農。「おおにし農園」で3年間多品種野菜の研修。研修で力がつき、すぐ就農できる環境があった。新規就農者の苦労は、作業内容の計画作り、経理の管理。地域交流イベントに参加し、直接、生活者と出会うことで消費者ニーズを理解し、飲食店と情報交換して、販売の面白さを実感している。

### ◆報告③「兵庫県農業の現実と担い手の確保・育成について」

稲葉久美子氏（兵庫県農政環境部農業経営課長）

人口減少社会の中、安定した食料確保の問題、農業担い手問題、農地有効活用の問題が山積している。国の認定農業者制度を推進しているが、5年ごとの再認定を受けない農家が多く減少傾向。また集落営農の組織率25%、新規就農者も1年度は243人が、4年連続減少している。農業経営の法人化も支援している。

私としては横山さんの逞しさと実行力に魅了されました。（惣山町G 西尾 律子）